

あかしあ

AKASHIA

- 発行者 社会福祉法人あいのわ福祉会 理事長 岸本美恵子
 ●連絡先 〒121-0012 東京都足立区青井4-30-5
 電話 03(3849)1188
 FAX 03(3849)7001
 ●印刷 足立区大谷田就労支援センター
 法人ニュース「あかしあ」隔月25日発行

平成22年度第4回評議員会・理事会報告

・平成22年度第4回評議員会・理事会

開催日 平成23年3月15日(火)

評議員会 午前10時～11時10分

理事会 午前11時15分～11時30分

開催場所 足立あかしあ園3階会議室

議案

第1号議案 平成23年度事業計画(案)・予算(案)について

第2号議案 平成22年度決算前特別処理について

①「建設事業特別会計」の清算及び引き継ぎ

②「竹の塚あかしあ杜・支援センター」経理区分の移行

③前年度末資金収支残高の資金移動

第3号議案 施設長人事について

第4号議案 神明障がい福祉施設3施設の民営化について

第5号議案 諸規則の制・改訂について

第6号議案 理事の退任及び選任について

今年度最後の評議員会・理事会も無事に終了いたしました。平成23年度の事業計画・予算、施設長人事、第9期理事・評議員の退任及び新しい理事・評議員の選任等の重要な議案について熱心にご審議いただき全ての議案が承認されました。

法人として初の取り組みであった地域支援型多目的施設・あいのわ支援センター谷中が開設し3か月が経過しました。短期入所、一時預かり、食事提供等についても、事業開始に向けた説明会が開催されました。

利用者の皆さんやご家族の方の高齢化も進んでおり、法人の将来に渡る地域生活支援、住まいの場の提供等多様な対応が求められています。関係者の皆さまの引き続いてのご支援ご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。

神明障がい福祉施設「ふれあい会」開催

2月17日(木)、神明障がい福祉施設で今年度の地域ふれあい会を開催いたしました。

地域ふれあい会の趣旨として、日ごろ施設の活動にご理解ご支援をいただいている関係者や地域の方々と、親睦を深めるという目的があります。当日はお世話になっている講師の方や業者の方、さらには地域町会、特別支援学校や行政関係者など24名の方々に参加していただき、施設からは法人理事長はじめ職員10名が出席し、短い時間ながらもとてもやかな会を開く事ができました。

当日は職員の出し物として、毎年恒例となっている「南中ソーラン」の踊りを披露しました。この日に向けて仕事の合間をぬって練習に励んできた、デイサービス・福祉作業所・神明福祉園の職員有志10人の踊りに、場内から暖かい声援が飛ぶ中アンコールの声も多かったです、大いに盛り上がったソーランとなりました。左の写真はその時の踊りの様子です。決まっていますでしょうか？

毎年、神明障がい福祉施設では夏に施設を公開する、ふれあいデー、冬には地域懇親を深める地域ふれあい会を行い、様々な立場の方々と交流させていただいています。そこで強く感じる事は、来ていただく皆様が施設との関係だけでなく、施設に通う利用者の方々に温かい目を向けながら、施設を応援してくださっている、という事です。

そうした応援に対して、まだまだお応えしきれていないと思いますが精一杯の取り組みを続けていきたいと思っています。

今後ともよろしく願っています。
(飛鳥馬)



足立あかしあ園だより

日差しが延び、春らしい空気が漂うようになってきました。春の訪れのうれしさと共に花粉の恐怖もやってきました。皆さんの対策はいかがでしょうか？

さて、今年度は改修工事が終わり、グループが3つから4つに編成され、利用者も職員も新しい仲間が増え、恒例のふれあいフェ



スティバルでは近隣小学生が作成した100枚のポスターをステージいっぱいに展示することもでき、また、職員の中では結婚や出産が続いて幸せな空気を皆で感じたり…と大変多くの出来事がありました。

次年度はさらに利用者・職員共に増える予定ですので、もつとにぎやかになると思います。今年度以上に楽しく、元氣よく笑顔の絶えない足立あかしあ園でいこうと思いますので応援よろしくお願いします！
(堀内)

綾瀬あかしあ園だより

春浅く風未だ寒い日が続いていま

す。皆様お元氣でお過ごしでしょうか？

さて綾瀬あかしあ園では、次年度の地域生活支援の1つとして、家族の皆様と合同での「いっしょ勉強会」を企画しています。この勉強会を通して、私達が福祉サービス等の知識を得ることはもちろんですが、最終的には、1人ひとりの皆が将来を考えるための大事な時間となればと思います。手探りをしながらのスタートとなりますが、外部の関連機関を巻き込んで、実りある内容となればと考えています。平成23年度は、新しい取り組みにたくさんチャレンジしますが、ひとつずつ着実に進んでいければと思います。



3月11日に発生しました東北関東大地震は、世界的にみても史上まれに見る未曾有の災害となりました。被災されました多くの方々に心よりお見舞い申し上げます。綾瀬あかしあ園の利用者さんは、ほとんどの方が帰宅の通所バスに乗車中でした



の職員の皆さんに全員無事ご家族のところまで送っていただきました。3月14日の月曜日からは、余震が起こると写真のように防災ヘルメットや頭巾を着用しながら日中活動をしています。被災地の皆さんが1日も早く落ち着いた暮らしができますようお祈りしています。
(森)

竹の塚あかしあの杜きずな
(生活介護入所) だより

街を歩いていると、庭先から梅の香りが感じられ、春はすぐそこまで近づいているなと思う今日このごろですが、皆様はいかがお過ごしでしょうか？



きずなでは、2月3日に節分の豆まきを行ないました。鬼を模った玉入れマシーンを支援員が数日かけて作成、とてもアイディアあふれるマシーンで、出来上がりは最高、大変好評でした。また鬼に変装した支援員を怖がる利用者の方もいて、賑や



かで楽しい豆まきでした。

3月に入るとおいしいもの(を食べる)班の1泊旅行が行われます。茨城県の大洗で、あんこう鍋を食べて、美味しく、楽しい思い出に残る旅が出来ると思います。(諸般の事情により中止になりました。)

春になると花粉のつらい方もいらっしゃると思います。また何かと忙しい時期でもあります。利用者の方も職員も、体調には十分気を付けて頂きたいと思います。

来年度も、どうぞよろしく願います。
(田口)

竹の塚あかしあの杜のぞみ
(生活介護通所) だより

1月11日に『成人を祝う会』を行いました。

今年も新たな門出を迎えられる方と一緒に祝いできて、本当に嬉しいです。今年の成人者は渡久地政貴さんでした。



渡久地さんは成人者のあいさつで「今まで以上に仕事を頑張って、たくさんお給料をもらいたい」と、これからの希望を語り、きてくださった来賓やのぞみの利用者家族に対しての感謝

の気持ちも忘れずに述べていました。
〔渡久地さんへ〕

これからお友達と一緒にたくさん
の経験をして、自
分の望む『自分』
になってくださ
い。いつもお友達
への気配りをして
くれる優しい渡久
地さん、これから
も楽しく過ごしまし
よう。

〔お父さま、お母さまへ〕

これまでの日々、あつという間だっ
たと思います。お疲れ様でした。これ
からの渡久地さんの成長と一緒に見守
っていければと思いますので、よろし
くお願いします。
(細野)



大谷田就労支援センター 大谷田ホームだより

今年度も残り僅か。少しずつ気温も
上がり、過ごしやすい気候になりました。
た。年度末ということもあり、色々な
作業でみなさんお忙しいことと思いま
す。

大谷田では、近くの高校と共同で高
校生の福祉体験授業を行っています。
学校側の目指すことは、「様々な人と
の触れ合いを通して社会性を育てる」
「就業体験を通して自己の生き方なり
方を考える」「実習を経験することに

よって適切な勤労観を培う」のよう
です。

私たちは、生徒さんに街のバリアフ
リーを体験していただく、《バリアフ
リー調査隊》を行っています。これは
普段、障がいのない人が生活してい
て気付かない不便さを体験するもの
です。障がいのな
い人にとっては使
いやすい街も、車
イスの人にとつて
は使いにくいこと
があります。例え
ば、スーパーの商
品陳列。障がいの
ない人にとっては
取れる高さも車い
すだと届かない、
通路が狭く危ない
ということなどが
あります。駅は、
車いすトイレやエ
レベーターが設置
されていたりと、
街には使いにくい
面と使いやすい面
があります。

そんなバリアフ
リー調査隊もいろ
んなことがあります。
した。女子生徒が
来ると俄然やる気



が上がる利用者のMさん、年齢を10歳
以上上に見られたKさん。また、博物
館の見学に行くのに障害者手帳を忘れ
てくる(このときは特別無料にしても
らいました。)、バスの乗車時間がギ
リギリになって運転手さんに怒られた
こと等々、私たちも色々な体験をし
てきました。

様々なハブニングはありますが、個
性豊かなキャラの濃いメンバーで頑張
っています。地域交流も含めてとても
良い授業になっていると思います。こ
の体験で少しでも障がいについて理解
が深まればと思います。

話は変わりますが、大谷田就労支援
センターをより多くの方に知っていた
だきたく、非常階段の側面にドーンと
大きな広告用の懸垂幕を付けました。
近隣の方や車で通る人たちに大きなア
ピールとなっています。これにより仕
事もドーンと増えることを期待してい
ます。

(4月3日に予定していた桜祭り
は、東北地方太平洋沖地震の発生によ
り中止することといたしました。関係
者の皆様にはご迷惑をおかけいたしま
すが、ご了承いただけますようお願い
いたします。)
(門前)

神明福祉園だより

活動で散歩に出かけると、梅の花が
だいぶ咲き始め、
うすピンクが目
入ります。まだ
だ寒い日が続い
ていますが、春は近
くまで来ているの
ですね。春と共に
花粉症もやってき
ますね。

神明福祉園は2
月は外出月で、1
グループは選択外
出で「近場でおし
やれコース」「ス
トレス発散カラオ
ケ三昧コース」
「鉄道とスカイツ
リーを見よう遠出
コース」から選ん
で出かけました。
近くにできたファ
ッションセンター
しまむらで靴下や
帽子などを買いま
した。かわいいド
レスやハイヒールなども試着してみま
した。カラオケは西新井で踊りあり熱
唱ありの熱いひと時となりました。



東武博物館で新旧の鉄道車両を見たリ、運転シミュレーションの体験もしました。スカイツリーも見えて、建設中とはいえ大きかったです。



2グループは2月の後半から予定しています。今を時めく上野動物園周辺を散策します。来日したばかりのパンダに会えるでしょうか。アメ横はパンダフィーバーに乗ってにぎやかでしょうか。楽しみです。(山井)

神明デイサービスセンター だより

三寒四温と言いますが、毎日の寒暖差には少々ツライものがありますね。

さて、神明デイサービスでは2月に恒例の大谷田公園外出を実施しました。この寒い時期、なぜ公園に？と思う方もいらっしゃるでしょうが、

大谷田公園には区内随一の梅園があるのです。そこには約120本の梅が植えてあるのとこ



日には梅まつりも開催されました。

公園の宣伝？はこのくらいにして：今回の外出ですが、初回は2月16日。前日の雪で実施できるかとの心配もありました

が、現地に着いてみると雪は日陰に残っている程度。遊歩道は問題なく、暖かな日差し

の中でゆっくりと梅の花を鑑賞できました。ただ、梅



は種類によって咲く時期が大きく違い、全体的には三分咲きくらい。もう少し遅めに来た方がよかったよねとの声もちらほら。でも、日程決めは難しいんですよ、ホント。

デイサービスではこのあとも絵画講習会の作品展や、音楽講習会のゆうあいらんどさの訪問演奏会などの行事が控えています。次回はそのあたりのご報告ができと思っていますので、お楽しみに…。(落合)

神明福祉作業所だより

暖かい日差しが少しずつ増し加えら

れ、春の訪れを感じられるようになりました。寒く長かった冬、猛暑という言葉も口にしたくないほどに暑く長かった夏、春と秋は何処へ、四季ではなく二季になってしまふのではと不安を呼び起こすとても不順な気候でした。

22年度も残すところあとわずかとなりました。作業所のこの1年を振り返ると、作業と活動、行事に追われる日々でしたが、新体系2年目はほぼ順風満帆な事業を展開することができました。住みなれた地域で暮らし続けることを支援する1つとして、ケアホーム谷中に作業所から3名の利用者の皆さんが入り、少しずつホームにも慣れ楽しむ余裕も出てきているようです。我が子の行く末に希望の灯りが見えてきたとほっと胸をなでおろす親御さんが目に浮かぶようです。また、コーヒーマスターの袋詰めと販売事業もかりんの売上の30%を占めるほどになりました。「このコーヒーマスター美味いね。薫りもいいよ。」など、嬉しいお客様の



新春のつどい (今年の目標を絵馬に・・・) 滑り台を使った避難訓練、ちょっとドキドキ

声を聞くと、やっててよかったと至福の一滴をいただきます。『ほっと一息e気分』がもつともっと地域に広がっていきけるようにとパッケージもリニューアルしましたので、乞うご期待をして下さい。

そして、いよいよ23年度から神明福祉作業所は、足立区の指定管理施設から法人立施設として再スタートを切ります。障がい者総合福祉法がどんな着地点をみせてくれるのか目は離せませんが、法人名である『あ・い・の・わ』にふさわしい福祉サービスを今後も提供し続けて参ります。新しくなる神明福祉作業所をこれからもどうぞよろしく願います。(小川)

グループホームオハナだより

今年度も残すところ、あとわずかとなりました。

毎年、心豊かな気持ちと笑いと元気を利用者のみんなにもらっている私達支援員。今年度は私達からみんなにすてきな心のプレゼントをあげようというスタートした平成22年度だったのですが、振り返るとやはり今年度もみんなからあたた



かいプレゼントを
頂き、私達からは
：??

みんなに感謝、
感謝、感謝の気持
ちでいっぱいです
!!

いつも笑いのた
えないオハナ、こ
れからもずっと笑
いをたやすこと
なく、健康に気を
つけながら、より
よい生活を送って
いきたいと思いま
す。愉快的利用者
のみんなとドジば
かりしている支援員と共に：!!

3月に入っても、寒い日が続いてい
ます。春が待ちどろしい今日この頃。
暖かくなったら、みんなで桜を見に出
かける予定です。

この1年間いろいろとお世話になり
ました。充実ある毎日を送れるのも皆
様のおかげと感謝しております。来年
度もご指導の程、よろしく願いま
す。
(永山)

あいのわ支援センターだより

1月から入浴サービスを新規スタ
ートし、約2カ月が経とうとしています。



開始当初は、新しい環境にご利用者様
も職員も慣れずにいましたが、回数を
重ねる度に徐々に慣れ、入浴を待つて
いる間はヘルパーとお話をしたり、テ
レビで韓流ドラマや時代劇などを鑑賞
したりと思い思いに過ごされていま
す。

また、入浴後はドリンクサービス
堪能し、皆様リラックスしてご入浴を
されています。

入浴サービスの内容は、入浴と送迎
だけではなく、ご家族様等のご要望に
より、入浴サービスと合わせたタイム
ケア、ナイトケアの実施も行っていま
す。タイムケア等では、ケアホームと
同じメニューの食事を提供していま
す。厨房が1階にある為、食事の時間
が近くなると、厨房から美味しそうな
匂いがして、食事を作る様子を眺めて
いるご利用者様もいらつやいます。
食後は、お帰りの時間までテレビをみ
たり、のんびりと皆様過ごされていま
す。

まだ、入浴サービスを開始して間も
ないので、各曜日、1部、2部ともに
ご利用できる空きがあります。入浴サ
ービスに関するご質問等がありましたら、
あいのわ支援センター谷中、入浴
サービス担当(照井・吉見)までご連
絡下さい。

今後、いいお湯、いいひととき、
いいおもてなしで入浴サービスのご利

用をお待ちしております。
(吉見)

少しずつ春が近
づいてきました。

支援センターのケ
アハウスでは、先
日バレンタインデ
ーにちなんですか？皆
様でお菓子作りを
しました。小さな
カップに慎重にチ



ョコレートを流し込み、仕上げにカラ
フルなチョコをトッピングして可愛い
バレンタインチョコが完成しました。
お味の方も初めてにしてはなかなかの
出来で、皆様で楽しいひと時を過ごし
ていただけたのではないかと思います。

また、先日3月9日には、来年度よ
り始まるショートステイの説明会を谷
中にて開催させていただきました。当
日は午前・午後合わせて100名ほどの方
がご参加下さり、ご予約の取り方やキ
ヤンセルについて等、多数のご質問を
いただきました。終了後には早速登録
申請書を提出して下さいました方もいらつ
やいました。お忙しい中お越し下さ
り、皆様ありがとうございます。

今後の予定と致しましては、4月よ
り契約のための面談をさせていただ
き、6月からはいよいよショートステ
イが稼働致します。職員も初めての事

で戸惑うことやご迷惑をおかけするこ
ともあるかと思いますが、皆様のご期
待やご要望に沿えるよう努力していま
りますのでどうかよろしくお願い致し
ます。

なお、ショートステイに関するご質
問や、ご登録のお申し込みにつきましては、
まずは、まずお電話にてあいのわ支援セ
ンター谷中のショートステイ担当の中
出または内田までお問い合わせくださ
います。
(内田)

■「東北地方太平洋沖地震」義援金協力をお願い■

理事長 岸本美恵子
日頃から法人事業運営に対しまして、
ご支援ご協力をいただきありがとうございます。

この度の未曾有の「東北地方太平洋沖
地震」につきまして、被災された大勢の皆
様方には心からお見舞い申し上げます。

今、法人としてできることとして、法
人各施設に募金箱を設置し、皆様のご協力
をお願いすることと合わせて、足立区肢体
不自由児者父母の会及び各保護者会・家族
会にも協力を要請し、法人職員と共に一丸
となつて活動を進めて参ります。

また、次の段階として、災害地の受け
入れ態勢ができた時点で、福祉施設への人
的支援を考えたいと思います。色々な形で
の支援があるかと思いますが、長丁場にな
ることと思いますのでご協力の程よろしく
お願いいたします。

投稿欄

（俳句・川柳など募集中です）

三月の 決算仕上げ 釣下度 秋山啓司
春の日に ちよっぴり不安な 新天地 塚 宗子
ダイエット 開始はいつも 明日から 大谷田リバウンドクラブ

後援会だより

（平成23年1月～2月） 敬称略、順不同

◇一般会員（1口3千円）

小谷節子

◇団体会員（1口5千円）

青井4丁目緑会 自治会会長 庄司和彦

◇寄付者

西村文雄 野澤カツヨ 西澤歯科医院

★今年とも多くの皆様からの後援会へのご加入、ご寄付 有り難うございました。今後どうぞよろしくお願い致します。★

竹の塚あかしあの杜「なごみ」

（平成23年1月～2月）

短期入所事業利用状況

延べ利用人数	88名	内児童	10名
延べ利用日数	202泊	内児童	28泊

編集後記

3月11日14時46分ごろ、三陸沖を震源に国内観測史上最大のM9.0の地震が発生しました。津波や火災で多数の死傷者がでていて、取り残されている人たちも数多くいるとのこと。2日目が経ち、被害の詳しい様子が報道されるにつれて、今回の地震の規模の大きさと津波の怖さが伝わってきます。東京でも大きな揺れを感じ被害も報告されています。

地震発生時、私は電車に乗っていて大きな揺れを感じた後、急停止した電車の中で2時間近く待機しました。その後、駅員の誘導で電車から降りて線路を歩いて最寄り駅に向かいました。駅では、公衆電話に並ぶ人と、バスを待つ人の長蛇の列ができていて、すし詰め状態のバスにやっと乗れたと思ったら道路が大渋滞になっていました。

家に帰り着くまでの間、なかなか携帯が繋がらなくて家族の安否がすぐには確認できなかったことが一番の不安でした。いまだ取り残されている方、家族や知り合いの安否状況が確認されていない方が多数いらっしゃるとのこと、不安でいっぱいだと思います。本当に心配です。

これから国を挙げての支援はもちろんのこと、私たちにもできることはないか、あったら実行に移し、もう一度家族や施設、地域との災害時の対応を確認しあうことが大切ではないでしょうか。

●後援会加入のおねがい●

当法人の事業及び運営施設の発展を願ひ、財政的な援助をしていくことを主として後援会活動を行っております。

一人でも多くの方々に賛同いただき、後援会へのご加入をお願い致します。申し込み・お問合せは後援会事務局 電話（3849）1188まで